

三光クリニック 蒲田駅前院

さい じんかん

崔 仁煥 院長

内科・消化器内科・内視鏡内科

前 順天堂大学 消化器内科 前任准教授

現 順天堂大学 消化器内科 非常勤講師

蒲田駅南口、東急改札出口から徒歩 30 秒の場所に、
「三光クリニック蒲田駅前院」を新規に開業いたしました。
蒲田駅西口にある三光クリニックの分院であります。

院長の崔 仁煥（さい じんかん）は、30年間にわたり順天堂大学・消化器内科で研鑽を積んでまいりました。内視鏡の経験数は、10万例以上、10,000例以上の消化器がんの診療に携わっております。これからは、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病や循環器・呼吸器疾患にも力を入れてまいります。

院内は、患者さまが落ち着いて過ごせるよう、癒しの空間となっております。スタッフも皆、患者さまを思いやり慈しむ心を第一に笑顔で対応しております。

「どんな病気も早期発見・治療、さらに予防ができれば未来は明るい。地域の方々がずっと健康で暮らせるよう、力になりたい」そんな思いで日々診療にあたっております。

幅広い領域の診療をめざす

— 院長の専門について

専門は、内視鏡内科、消化器内科と内科全般です。

日本内科学会・総合内科専門医

日本消化器内視鏡学会・内視鏡専門医、指導医、評議員

日本消化器病学会・消化器病専門医、評議員

日本膵臓学会・前認定指導医、前評議員

日本肝臓学会・肝臓専門医

日本胆道学会・前認定指導医、前評議員

日本超音波医学会・超音波専門医

日本消化器集団検診学会・専門医

日本がん治療学会・前認定医

日本医師会・認定産業医、

難病指定医

一クリニックで行っている「苦痛のない大腸・胃の内視鏡検査」について

当院では「痛くない大腸カメラ」、「苦しくない胃カメラ」を実践しています。具体的には、まず軽い鎮静をかけ、検査に伴う緊張をやわらげます。そして、「高度な技術」＋「高性能カメラ」＋「豊富な経験」により、短時間で正確な診断をきわめて楽に、痛みを伴わずに行います。

当院は検査後にアンケート調査を行っていますが、検査を受けた99%以上の方が「痛くない」「苦しくない」と回答しています。検査に対してつらいイメージを持っている方も、どうか安心して受けてほしいと思います。

早期発見により完治可能な胃・大腸がんが増えています。そのため、皆さまには積極的に検査を受けていただきたいと思います。

—CT、MRI、PET は最新の機器を有する施設と連携

内視鏡も超音波も最新の機器を使用しています。ただし、機器が新しいだけではだめで、医師の熟練度が最も大切です。症例をいかに数多く経験しているかで、まったく違う結果になる場合があります。

CT・MRI・PET は最新の機器を保有する施設と提携し、読影は、私を含め3名の医師でトリプルチェックを行っています。豊富な経験を有する院長が、直接検査の読影を行うことにより、病気の診断精度を高めます。

—早期発見で印象的なケースについて

かかったら助からないと言われている膵臓がんでも、

早く見つかったことで、5年、10年と元気に通ってこられる患者さんをたくさん経験しました。診断の難しい病気を少しでも早く治療に導いて、一人でも多くの命を助けることが、私に与えられた使命と考えております。

—今後の展望

今後は遺伝子やAIを用いたがんの早期診断が発展していくと思います。同時に、患者さん個々に適切な治療法を提供できる個別化医療、病気が発生する前に対処する予防医療もさらに進歩するでしょう。クリニックでは、大学病院などの高度医療機関と連携し、最新の医療を提供できるよう努めてまいります。

最も大切にしてきたもの、 それは「仁」

—患者さまへの丁寧な説明を心掛けて います

患者さまへの丁寧な説明を最も大切にしていきます。診察室で検査画像やデータを見ていただき、患者さまが納得していただけるまで、わかりやすく説明するよう努めています。

—院長のリラックス法について

インドア、アウトドア、両方の趣味があります。インドアはワインを楽しんだり、音楽を聴いたり、ブログを書いたり。アウトドアは旅行、ドライブ。ランニングも好きで、近所の公園を走っていますが、気が向けば東京タワーまで行ってしまいうこともあります(笑)。

—皆さまへのメッセージ

私が最も大切にしてきたもの、それは「仁」です。仁とは「人在りて我あり、他を思いやり、慈しむ心」。私たちがクリニックで提供するすべての医療行為の基本になっています。今後も、「痛くない大腸カメラ」、「苦しくない胃カメラ」、さらにはすい臓、肝臓、胆のうがんの早期診断、生活習慣病の早期診断・治療を中心に、皆様に貢献してまいりたいと考えております。

